

2024 年 1 月 10 日

公益財団法人北海道科学技術総合振興センター
(ノーステック財団)

北海道大学北キャンパス内「コラボほっかいどう」が「ZEB Ready」認証を取得

ノーステック財団は、北海道産学官協働センター「コラボほっかいどう」において、建築物省エネ法第 7 条に基づき建築物の省エネ性能を表示する第三者認証制度の 1 つである、BELS (建築物省エネルギー性能表示制度)に基づき、国が推奨する ZEB 認証(ZEB Ready)を取得しました。

ノーステック財団の本拠地でもある「コラボほっかいどう」は、2000 年の設立以来、企業と大学が共同研究を行うための施設として活用されてきましたが、現在は 8 つの企業が入居し、研究成果の実用化と事業化を目指す取り組みを進めています。

当財団では、建物の老朽化に伴う設備更新と省エネルギー化を目指し検討を重ねてまいりましたが、このたび、高効率の空調機・熱交換換気システムの設置、屋根・腰壁の高断熱化などを含む ZEB 化改修工事を実施しました。この工事により、建物の基準一次エネルギー消費量を 54%削減することが可能となります。

今後は、空調設備の運転最適化によりさらなる省エネルギー効果を追求するとともに、環境に優しい持続可能な社会経済システムの構築を目指し、事業を推進してまいります。

以上

施設概要

所 在 地：札幌市北区北 21 条西 12 丁目 北海道大学構内

構 造 ・ 階 数：鉄筋コンクリート造 地上 3 階・塔屋 1 階

延 床 面 積：1991.17 平方メートル

実 施 設 計：株式会社トータル・エネルギー・プラン

ZEB プランナー：北海道電力株式会社、株式会社 トータル・エネルギー・プラン

工 事 施 工：桜井冷熱機械株式会社

エネルギー消費性能：設計一次エネルギー消費量 54%削減



北海道産学官協働センター(コラボほっかいどう)



ZEBとは

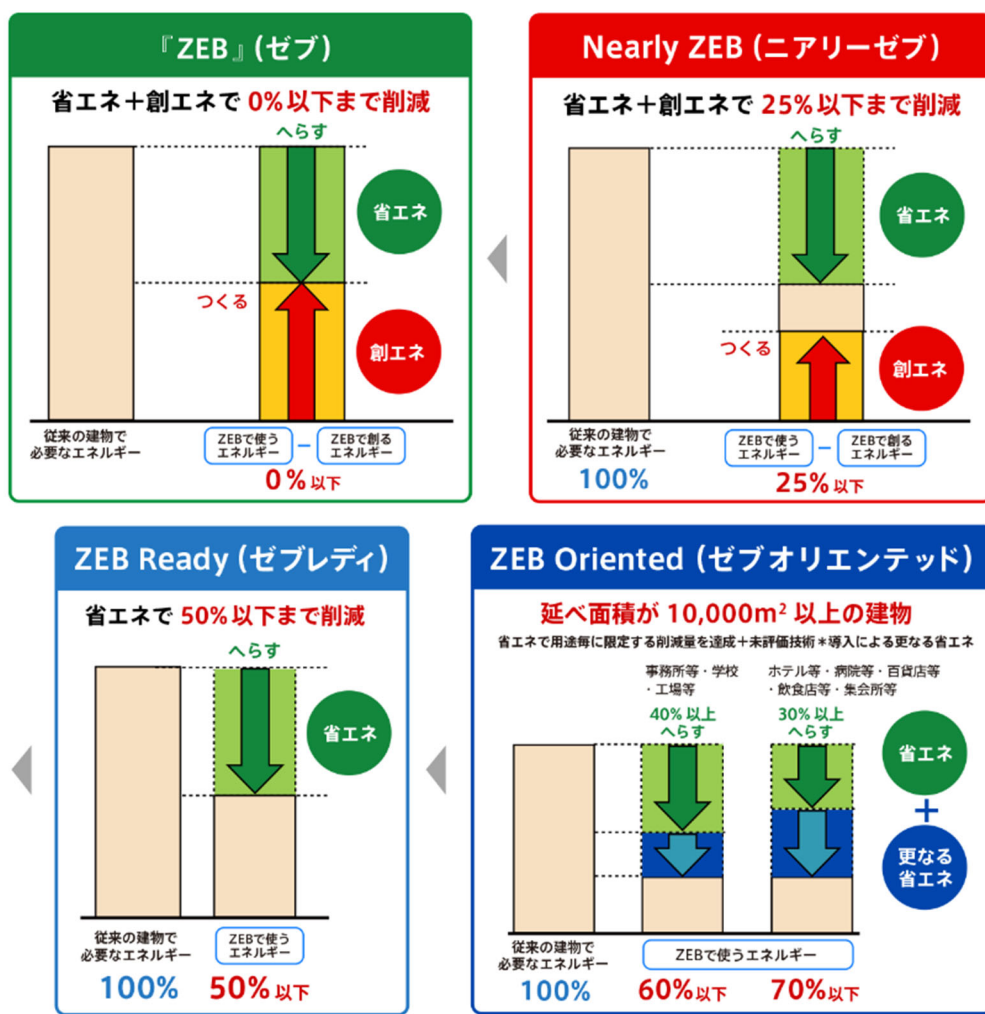
ZEBとは、Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。

【4段階の ZEB】

ZEB の種類	定量的な定義(判断基準)
ZEB (ゼブ)	基準一次エネルギー年間消費量を 50%以上削減し、再生可能エネルギーを含めて 100%以上削減した建築物
Nearly ZEB (ニアリー ゼブ)	一次エネルギー年間消費量を 50%以上削減し、再生可能エネルギーを含めて 75%以上削減した建築物
ZEB Ready (ゼブ レディ)	一次エネルギー年間消費量を 50%以上削減した建築物
ZEB Oriented (ゼブ オリエンテッド)	一次エネルギー年間消費量を 30%または 40%以上削減し、さらなる省エネルギーの実現に向けた措置を行っている建築物

詳細はこちら:<https://www.env.go.jp/earth/zeb/detail/01.html>

(「環境省 ZEB PORTAL - ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ゼブ)ポータル」のサイトへリンクします。)



BELS

Building-Housing Energy-efficiency Labeling System

建築物省エネルギー性能表示制度



この建物の
設計一次エネルギー消費量 **54%削減**
545MJ/(m²・年)



一次エネルギー消費量基準	適合
外皮基準	適合 BPI=0.66

誘導基準
(40%削減)

省エネ基準
1,207MJ/(m²・年)

※再生可能エネルギーを除いた
設計一次エネルギー消費量の
基準一次エネルギー消費量からの削減率



北海道産学官協働センター（コラボほっかいどう）
2023年7月21日交付
国土交通省告示に基づく第三者認証
（日本E R I株式会社）